

事務事業名 雲南ブランド化プロジェクト(うんなん幸あり月)		所属部 政策企画部	所属課 政策推進課
総合計画体系	政策名 (I)みんなで築くまち<<協働・行政経営>>	所属G 雲南ブランド推進G	課長名 熱田勇二
	施策名 (07)計画的なまちづくり	担当者名 鳥谷健二	電話番号 0854-40-1011 (内線) 3512
	目的:対 市の施策 意図 計画的に目標を達成する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1 企画総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 5 0 8 雲南ブランド化プロジェクト	
	基本事業名 (022)実施計画の策定と進行管理		
目的:対 事務事業 意図 計画的に事務事業を実施する。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内の地域資源(人と自然と歴史と食の幸)を活用したイベントを一体的に情報発信する取組み。 期間:10月中旬から11月中旬までの一か月間。 作成物:ポスター、チラシ、ホームページ、CA TV・文字放送等 その他、PRイベントの実施

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・連絡会開催、関係者調整 ・情報発信 ・うんなん若者会議の開催	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・連絡会開催、関係者調整 ・情報発信				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア ホームページアクセス数	件	5,897	24,800	4,481	5,000
	イ 連携するイベントの数	件	9	24	32	32
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	① 市民 ② 市外の人	ア 人口(推計人口)	人	40,548	40,055	39,472	39,458
		イ 観光入込客数	万人	96.6	143.8	137.7	130.0
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① イベントに参加する ② HPIにアクセスしてもらう	ア 関係イベントへの参加者数	人	13,740	10,170	13,310	15,000	
	イ ホームページアクセス数	件	5,897	24,800	4,481	5,000	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
・報償費 100千円(取材謝礼、決起集会出品等) ・需用費 69千円(消耗品、チラシ・パンフ印刷費等) ・印刷費 306千円(パンフレット印刷) ・手数料 792千円(パンフレット仕訳、USTREAM配信) ・燃料費 41千円 合計 1,308千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	3,070	1,575	1,308	1,026
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	3,070	1,575	1,308	1,026
		人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2
		延べ業務時間	時間	400	400	400	
		人件費計(B)	千円	1,567	1,557	1,555	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,637	3,132	2,863		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南ブランド化プロジェクトで取り組んでいる事業が市内に定着する一方で、更に情報発信を行い、活動を多くの市民に広げるための「見える化」が課題となっている。	単体のイベントでは情報発信力が弱い点があるため、連携することで情報発信の機会を増やした。 松江市、出雲市でも以前から神在月キャンペーンを行っており、その取組との差別化が必要であった。	H23年12月議会において、市内各地で実施される秋イベントの集約化を求める意見があった。

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト(うんなん幸あり月)	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	幸あり月の取り組みとして、更に一体感を高めるための工夫や効果的な情報発信などが必要である。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	取組の趣旨について一定の理解が得られ、成果も上がりつつあり、各イベントの効果を高めるためにも必要である。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		うんなん幸あり祭との連携・統合
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		取組を整理し、うんなん幸あり祭や市民との連携等を強めることで事業費削減を図る余地がある。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		民間主導による運営やボランティア団体などの多様な参加により削減を図る余地がある。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		市内には誇るべき活動が多くあり、今後、雲南ブランドにふさわしい地域の活動を合わせて発信したい。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		一体的な情報発信を行うことで一定の周知効果があった。交流人口の拡大に向け、雲南の本物感が伝わるようにコンセプトのブラッシュアップや効果的な情報発信など成果向上の余地がある。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
○雲南の「幸」にこだわりながら、全国に発信できる企画にする。 ○期間中のイベントを募集し、多くの市民参加を得る。 ○テレビ、ラジオ、SNSなど多様なメディアを活用し、情報発信力を高める。 ○事業運営する組織を強化、育成する。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						